TECHNICAL GUIDE: ARCSERVE® UNIFIED DATA PROTECTION

Arcserve® Unified Data Protection v5

Arcserve UDP 構成/運用ガイド

~バックアップ専用 LAN および

遠隔地データ転送の設定と運用手順~

2015年 9月

REV: 1.0

目次

はじめに1
1. 専用 LAN を利用したバックアップ環境構築3
1.1 バックアップ対象サーバの登録 4
<参考> 「ファイルからインポート」を利用してノードを追加する方法
2.バックアップおよび遠隔地へのデータ転送プランの作成と手動実行 10
2.1 バックアップおよびレプリケートプラン作成11
2.2 プランの手動実行18
3. 災害対策サイトからの復旧手順22
3.1 RPS ジャンプスタート機能を利用する手順23
3.2 レプリケートタスクを利用する手順34
4. 製品情報と無償トレーニング情報 36
4.1 製品情報および FAQ はこちら
4.2 トレーニング情報

変更履歴:

2015年9月作成

注意:この資料は2015年9月1日現在の製品をもとに記述しています。 すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当 する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これ に限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の 喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、 Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright \circledast 2015 Arcserve , LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

はじめに

Arcserve® Unified Data Protection (以降 UDP と表記) は、Arcserve D2D (以降 D2D と表記)の後継製品で、D2D 以 外に Arcserve Backup や Arcserve Replication / High Availability の一部の機能を包括しています。このため、小中規 模なコンピューティング環境だけでなく、大規模環境または災害対策、事業継続などのデータ保護ニーズに対応できるデ ィスク ベースのシステム保護ソリューションです。

導入から運用を開始するまで、ほんのわずかな時間と設定で済むだけでなく、一度運用を始めるとほとんど専門知識や手間をかける必要がないため、バックアップ運用管理者の手薄な地方拠点や小規模な部門、またはデータセンターでも安心してお使いいただくことができます。UDPの詳細については以下を参照ください。

http://www.arcserve.com/~/media/Arcserve/files/Presentations/asudp-v5-presentation.pdf

Arcserve D2Dをベースに機能を大幅に拡張し、 Arcserve シリーズ 3製品を統合した バックアップ/リカバリ ソリューション



本ガイドは大規模環境などでの運用を想定し、UDP管理コンソールと復旧ポイントサーバを使用した構成を使用します。 UDP管理コンソールは Windows や Linux の物理サーバや仮想マシンなど複数の保護対象マシンを1画面で統合管理でき ます。また、WEB形式の管理 GUI なのでブラウザが使用できる環境であればどこからでもバックアップ状況の確認や操 作ができます。

復旧ポイントサーバを利用すると、バックアップデータの重複排除機能や遠隔地転送などが可能となるため、バックアッ プだけでなく災害対策まで実施できます。

本ガイドの手順

本ガイドは Windows サーバを UDP エージェントで RPS にバックアップし、さらに災害対策サイトの RPS にバックア ップデータを転送する構成と、災害対策サイトのデータを使って本番サイトを復旧するための手順を説明します。 各手順の説明は、以下の流れです。

手順 1. 専用 LAN を利用したバックアップ環境構築

* 本手順書の Page: 3 ~ Page: 9 参照

手順 2. バックアップおよび遠隔地へのデータ転送プランの作成と手動実行

* 本手順書の Page: 10 ~ Page: 21 参照

手順 3. 災害対策サイトのバックアップデータを使った本番サイトの復旧

* 本手順書の Page: 22 ~ Page: 35 参照

説明手順は、ご使用の環境により一部手順が異なる場合がありますのでご注意ください。

▶ 本ガイドの構成



1. 専用 LAN を利用したバックアップ環境構築

本手順では、以下のようなバックアップ専用 LAN を利用した環境で、UDP 管理コンソールにバックアップ対象を登録する手順を紹介します。

※ バックアップ専用 LAN 利用環境の構築条件:

- ・業務 LAN へのネットワークトラフィックを防ぐため、RPS はバックアップ専用 LAN のみ接続して下さい。
- ・UDPの設定や操作でホスト名を利用する場合、バックアップサーバとバックアップ対象の各サーバの Hosts ファイルに、あらかじめお互いのサーバのホスト名を追加してください。

> バックアップ専用 LAN の構成例



バックアップ専用LAN

> 各 UDP コンポーネントの構築手順について

Windows 用 UDP Agent の導入手順については、以下を参照ください。 「Arcserve Unified Data Protection v5 Agent 環境構築ガイド(インストールからベアメタル復旧の手順)」 http://www.arcserve.com/~/media/Arcserve/files/Technical%20Documents/asudp_v5_agent_BMR_guide.pdf

UDP 管理コンソールと復旧ポイントサーバの構築手順については、以下を参照ください。 「Arcserve Unified Data Protection v5 環境構築ガイド (インストール、データストア構築の手順)」 http://www.arcserve.com/~/media/Arcserve/files/Technical%20Documents/asudp_v5_full_install_guide.pdf

- 注意)本ガイドの手順を実施するためには、UDP Update 2 以降の適用が必要です。 Update 1 以前の環境をご利用の場合は、以下から UDP の最新 Update をダウンロードして適用下さい。
 - ・Arcserve Unified Data Protection Version 5.0 ダウンロード情報一覧 https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/202756405

1.1 バックアップ対象サーバの登録

(1) [ノードの追加]

UDP 管理コンソール画面にログインし、[リソース]タブをクリックします。左ペインにて[ノード] - [すべての ノード]が選択されていることを確認し、[ノードの追加]をクリックします。

		_ _ ×
(⇐) ➡ http://localhost:8015/	の - c \Lambda Arcserve Unified Data Pr ×	â ★ \$
arcserve	் unified data protection ஒ <u>நகர பல்ளான</u> பாடுகளு	00 (日本標準時) Administrator - ヘルプ
ダッシュボード リソース ジョ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
▲ ノード すべてのノード	ノード: すべてのノード	▽ 開始 ×
	アクション・ ノードの追加 フィルタ ※ (フィルタ適用なし) • »	🖵 保護するノードの追加
▲ デスティネーション 復日ボイント サーバ	ノード名 プラン パイパーバイザ	デスティネーションの追加
▲ プラン すべてのプラン	このグループにノードはありません	😨 プランの作成
		関連する詳細を表示するために、ノードを選択します。
	★ ポージ(1) と と (3) あーオスデータがありません。	
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affili	ates and subsidiaries. All rights reserved.	

※ [ノードの追加]で複数サーバを一括で登録したい場合は、Page: 7 "<u><参考> 「ファイルからインポート」を利用</u> してノードを追加する方法"を参照ください。 (2) [Arcserve UDP コンソールへのノード追加]

[ノードの追加]から[Windows ノードの追加]を選択し、バックアップ対象ノードの情報を入力します。 下図の枠内に、バックアップ対象ノード名 (本ガイドでは"arcserve"を指定) または IP アドレス、対象ノード の管理者権限のあるユーザ名、パスワードを入力し、[リストに追加]をクリックします。

A http://localhost:8015/		Q - ¢	Arcserve Unified Da	ta Pr ×		n ★ \$
Arcserve UDP コンソール へのノード追	加					ΘX
ノードの追加 Windows ノードの追加	•					
			フード名 フード名	₩名	ハイパーバイザ	
ノード名/IP アドレス	arcserve 🗙		, TC, TC, ALLO ()			- 11
ユーザ名	Administrator					- 11
パスワード I説明の追加	*******					- 11
Arcserve Backup	□ インストール完了					
記録正の種类類	Windows 1211					
ユーザ名	Administrator					
パスワード	•••••					
ボート	6054					
	UX Ha	追加				和服金
へルプ	subscharges all repts received				保存	和地

右側に登録されたノードが表示されるので確認して、[保存]をクリックします。

※対象を複数登録する場合には、手順(2)を繰り返します

♦⊜∧	http://localhost:8015/		0 - Q	Arcserve Unified Data	Pr ×		în ★ \$
Arcserve U	IDP コンソールへのノード	追加					
ノードの追加	Windows ノードの追加	•					
	ノード名/IP アドレス			arcser ve	WM名	ハイパーバイザ	
	ユーザ名	Administrator					
	パスワード	•••••					
	脱明の追加						
	Arcserve Backup	□ インストール完了					
	認識の種業	Windows 認証 🔹					
	ユーザ名	Administrator					
	パスワード	0000000					
	ポート	6054					
		93	トに追加				和影象
へルプ						保存	和池川
Copyright 18 2015 An	cserve (USA), LLU and its athliates an	d subsidiaries. Al rights reserved.					

(3) ノード追加の確認

追加したノードが[すべてのノード]一覧に表示されていることを確認します。

↔ ↔ http://localhost:8015/	の - C 🔥 Arcserve Unified Data Pr ×	X
arcserve [.]	unified data protection _{ஒ உங்கு} பாடுகள்	00 (日本標準時) Administrator - ヘルプ
ダッシュボード リソース ジョブ ・ノード すべてのノード ・ デスティネーション ・注目ボイントサーバ ・ プラン すべてのプラン	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ ノード: すべてのノード アグション・ ノードの近日加 フィルタ ※ (フィルク連用なし) ・ ※ ノードス ブラン ハイパーバイザ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <td< th=""><th> ▼ 開始 × </th></td<>	 ▼ 開始 ×

<参考> 「ファイルからインポート」を利用してノードを追加する方法

あらかじめ「<ノード名>, <ユーザ名>, <パスワード>」の形式で CSV または TXT ファイルを用意します。

(1) [ノードの追加]

UDP 管理コンソール画面にログインし、[リソース]タブをクリックします。左ペインにて[ノード] - [すべての ノード]が選択されていることを確認し、[ノードの追加]をクリックします。

		_ _ X
http://localhost:8015/	ク・C Arcserve Unified Data Pr >	
Grcser∨e ४७०२ेवनँ- ।уу-र व्य	unified data protection で で が い の の で の の の の の の の の の の の の の の の の	00 (日本標準時) Administrator - ヘルプ
	ノード: すべてのノード	♥ 開始 ×
フラがない/ード ・ デスティネージョン (知日ポイント サーバ ・ プラン すべてのブラン	アクラン・ ノードの波加 フィルタ ※ ノード名 ブラン ノイバーバイザ このグループにノードはありませら ・ ・	 日 保護するノードの意知 デスティネーションの追加 デンプ・ペーションの追加 プランの作成 プランの作成 御速する詳細を表示するために、ノードを選択します。
On which B 2015 (common (UDA) 11 C and the offic		
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affili	ates and subsidiaries. All rights reserved.	

- (2) [ファイルからインポート]
 - [ノードの追加]をクリックし、プルダウンの選択肢から[ファイルからのインポート]を選択します。

Arcserve UD	DP コンソール へのノード追	ba				
ノードの追加	jWindows ノードの追加	•				
	Windows ノードの追加 Linux ノードの追加 Linux ビックアップ サード ノードの	20th	▼ ノード名	VM 名	ハイパーバイザ	
:	Linux / 199 / 99 7 サーバ ノートの Houwe Diedory から ファイルからインボート Tooman Control から Hyper-V からインボート 二 Arcserve HA からのノードのイン	♪5570 ディスカバリ ポート	ノードをリストに追加していま			
J	パスワード	•••••				
I	脱明の追加					
	Arcserve Backup	□ インストール完了				
1	認証の種類	Windows #28EE				
:	ユーザ名	Administrator				
,	パスワード	•••••				
7	ポート	6054				
		リストに追加			n da	
ヘルプ					保存をやいわり	

(3) [アップロード]

[CSV または TXT 形式ファイルの選択]で、事前に準備したファイルを指定して [アップロード]をクリックし ます。

Arcserve UDP コンソール へのノード追加				
ノードの注意加 ファイルからインボート マ				
	▼ ノード名	VM 名	ハイパーバイザ	
	ノードをリストに追加してい	いません。		
CSVまたは TXT 形式ファイルの選択				
C¥Users¥hosts.txt				
			_	
P970-F				HUDE
へルプ			保存 冬~	`ለካኔ
NF7				207

(4) [リストに追加]

Arcserve UDP コンソール へのノード追加 ノードの追加 ファイルからインボート -🔽 ノード名 ハイパーバイザ WM名 <u>フーザ名</u> Administrator パスワード ●●●●●●● <u>適用</u> ノードをリストに追加していません。 🔽 ノード名 ユーザ名 検証済み 0 🔽 host1 administrator V host2 administrator ٢ 0 🔽 host3 administrator 🔽 host4 • administrator 🔽 host5 administrator 0 V host6 • administrator ٢ V host7 administrator 🔽 host8 administrator 0 • 🔽 host9 administrator 0 V host10 administrator リストに追加 参照 ヘルプ 保存 キャンセル

バックアップ対象のノードにチェックを入れ、[リストに追加]をクリックします。

(5) 追加されたノードの保存

バックアップ対象のノードが右側に登録されたことを確認して、[保存]をクリックします。

Arcserve U	IDP コンソール へのノ	ード追加					
ノードの追加	ファイルからインボート	~					
ユーザ名	Administrator パスワー	-14		 ノード名 heat1 	VM 名	ハイパーバイザ	
🔲 ノード	名	ユーザ名	検証済み	host2			
📄 host	1	administrator	•	host3			
host	2	administrator	•	host4			
📄 host	3	administrator	•	host5			
📄 host	4	administrator	•	host6			
l host	5	administrator	•	host7			
i host	6	administrator	•	host8			
🔲 host	7	administrator	•	host9			
i host	8	administrator	•	host10			
host	9	administrator	•				
🔲 host	10	administrator	•				
<u>+</u> 177			1171 J. (~2Ptho				2184
Settin			37 PLOEMI				ad the second se
へルプ						保存	和心制

2. バックアップおよび遠隔地へのデータ転送プランの作成と手動実行

本手順では UDP 管理コンソールを使い、1.の手順で追加したノードのバックアップデータを遠隔地に転送するプランの作成 手順を紹介します。

<参考> プランとは

プランとは、1 つまたは複数のデータ保護を行う処理(以下、"タスク")を集約し、定義したものです。 それぞれのタスクで実行スケジュールや通知設定などを設定することができます。 また、1 つのプランに複数のタスクを設定することによってタスクの関連性を定義することもできます。

今回の手順では、以下の2つのタスクを1つのプランを使用します。

タスク名 1: "バックアップ:エージェントベース Windows"

⇒ Windows サーバをエージェント経由でバックアップするタスク

タスク名 2: "レプリケート"

⇒ バックアップデータを遠隔転送するタスク

>バックアップデータを遠隔地に転送するプラン全体の処理の流れ

タスク1のバックアップタスクが完了してから、タスク2のレプリケートタスクが実行されます。



※ プランを作成する前に、転送元および転送先の復旧ポイントサーバ (RPS) をそれぞれ UDP 管理コンソールに登録 してください。RPS の登録手順については、以下を参照ください。

「Arcserve Unified Data Protection v5 環境構築ガイド (インストール、データストア構築の手順)」 http://www.arcserve.com/~/media/Arcserve/files/Technical%20Documents/asudp_v5_full_install_guide.pdf

2.1 バックアップおよびレプリケートプラン作成

(1) [プランの追加]

バックアップを行うプランを作成し、追加したノードに割り当てます。左ペインから[プラン] - [すべてのプラン]を選択し、[プランの追加]をクリックします。



(2) プラン名の入力および、[タスクの種類]の選択

[プランの追加]画面で任意のプラン名を入力します。

(本ガイドではプラン名を"Windows サーババックアッププラン"と指定)

続いて、[タスクの種類]プルダウンから、[バックアップ: エージェントベース Windows]を選択します。



(3) [ソース]の選択

[ソース]タブにてバックアップ対象のノードを指定するため、[ノードの追加]ボタンをクリックし、[保護する ノードの選択]を選択します。

A http://localhost:8015/	Q → C Arrsenve Unified Data Pr. ×	▲ □ = ▲ 合 ★ ☆
arcserve	unified data protection _{《更新分子式使用不可} 」UTC+0800 (日本標準時) Administrator	• \\
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
プランの追加	このプ ○ ジェを 15 「存止 このプ 「存止 このプ 「存止 このプ 「たす 「存止	ヘルプ
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ: エージェントペース Windows マ	タスクの前間除
 タスクの追加 	ソース デスティネーション スケジュール 拡張 ● / - Fojié加 ▼ ■ ■ ■ ■	
製品のインストール	保護するノードの選択 Windows ノードの西加 Active Directory からのノードのディスカバリ	
	保護タイプ ● すべてのポリュームのパックアップ ○ 違択したポリュームのパックアップ	
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates	and subsidiaries. All rights reserved.	

[保護するノードの選択]画面が表示されます。利用可能なノードが一覧表示されますので、追加したいノード にチェックを入れ、右矢印ボタン(>)をクリックしてください。

(本ガイドでは 1.1 で追加したバックアップ対象ノード"arcserve"を指定)

[選択されたノード]にバックアップ対象ノードが選択されたことを確認し、[OK]をクリックします

http://localhost:8015/ OITCSOIVO® unif G課するノードの選択	ب م ied data protecti	Arcserve Unified	Data Pr ×	A4	
ッシー利用可能なノード	~	選択されたノー	-¦"		
	75V	arcserve	₩2	752	
	1件中 1 - 1 件を表示 表示をれません。			OK	**>1211

http://localhost:8015/	ク・ C 🔥 Arcserve Unified Data Pr ×	în ★
arcserve	unified data protection 後度新サーズは相不可 I UTC+0900 (日本標準時) Administrator	•
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
プランの追加	Cのプ Cクプ プンを G G G G G G G G G G	へいけ
タスク1: パックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ・エージェントベース Windows v	スクの背壁象
● タスクの追加	<u>ソース</u> デスティネーション スケジュール 拡張	
製品のインストール	 ④ /-F0i道加 ▼ 削除 □ /-K名 VM名 プラン □ arcserve 	
	保護タイブ ● すべてのボリュームのバックアップ ○ 選択したボリュームのバックアップ	

(4) [デスティネーション]の設定

1

[デスティネーション]タブをクリックし、バックアップデータの格納先を設定します。[デスティネーションの 種類]にて、[Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ]を選択します。(本ガイドでは"udp-u2"を指定) [復旧ポイント サーバ]でバックアップ先の RPS を選択し、[データ ストア]にて追加したデータストアをそれ ぞれプルダウンから選択してください。デスティネーションに RPS を使用する場合、バックアップデータを保 護するため任意のセッション パスワードを入力してください。なお、設定したパスワードはリストア時に必要 ですので忘れないよう適切に管理してください。

A http://localhost:8015/	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	¢
arcserve	unified data protection Administrator · Admin	ルプ
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
プランの追加	20プ ジンを 一時 停止 このプ 2次 「なかたル ヘルプ	
タスカ1: パックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ・エージェントベース Windows ・	
● タスクの追加	ソース デスティネーション スケジュール 拡張	
製品のインストール	デスティネーションの種類 ローカル ディスクまたは共有フォルダ Arcserve UDP i期日ポイントサーバ 御日ポイントサーバ udp-u2	
	データストア DataStore ・	
	セッション バスワード	
	セッション パスワードの確認	
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates	nd subsidieries. All rights reserved.	

(5) [スケジュール]の設定

[スケジュール]タブをクリックし、スケジュール設定をします。デフォルトで[日次増分バックアップ]が設定 されており、毎日午後 10 時からの増分バックアップがスケジュールされています。必要に応じてスケジュー ルの変更や追加をしてください。ここではデフォルトのままで進めます。

↔ ttp://localhost:8015/	ク・ C 🔥 Arcserve Unified Data Pr ×	(- □ ×
arcserve	unified data protection _{《 题析地一环线研究室} I UTC+0900 (日本標準時) Administrator	• ^JL7
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
プランの追加	20プ Windowsサーババックアップブラン 一時 停止	へルプ
タスク1: パックアップ: エージェント ペース Windows	タスクの種類 バックアップ: エージェントベース Windows 🔹	
 ● タスクの追加 	ソース デスティネーション スケジュール 拡張	
製品のインストール	・ ・ ●	
	スケジュールされたパッウアップの開始は時刻 2015/07/28 曲 18 * : 09 * 須日ポイントの保存 7 日次パックアップ 	
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLD and its effiliates (月次パックアップ 月次パックアップ 31 カスな人/手動がペッケアップ	~

(参考) 日次増分バックアップをクリックした際に表示されるスケジュール編集画面です。バックアップの種類、 開始時刻、曜日指定、保持バックアップ数が設定できます。(保持バックアップ数は、日次、月次、週次、ま たは曜日指定のバックアップスケジュールでそれぞれ異なります)

↔ ↔ http://localhost:8015/		タ → C 🔥 Arcserve Unifie	ed Data Pr ×		₼ ★ ♡
arcserve [.]	unified data	protection & END-MERT		進時) Administrator	ځاره -
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環	境設定 ハイアベイラビリテ	-1		
プランの追加	バックアップ ス ケジュ 毎日	ールの編集	×	**>1211	ヘルプ
タスク1: パックアップ: エージェント ペース Windows	バックアップの種類 開始は時刻	1 增分 ▼ 22:00 箇		(C)	
 クスクの追加 		 ✓ 日曜日 ✓ 月曜日 ✓ 水曜日 ✓ 木曜日 ✓ 土曜日 	 ✓ 火曜日 ✓ 金曜日 		
製品のインストール 	保持するバックアップ数	7		金 土 時刻 ✓ ✓ 22:00	
	ヘルプ	保存	**>セル		
		月次パックアップ 月次パックアップ 31 カスタム/手動パッ	ウアップ		Ų
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates	and subsidiaries. All rights reserved.				

(6) [拡張]の設定

[拡張]タブをクリックします。ジョブ前後のコマンド実行設定やメール通知の設定等の詳細設定が行えますが、 本ガイドでは設定をせずに進めます。

+ http://localhost:8015/	i	P + 0 ∧ Arcserve Unified Data Pr ×	★ \$
arcserve	unified data prote	ection _灸 <u>理時分一/说明杯可</u> I UTC+0800 (日本標準時) Administrator -	ヘルプ
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定	ለ1 ፖላጎንሮሀታィ	
プランの追加	Windowsサーババックアッププラン	このプ □ ラッ麦 保存 キャンセル ヘルプ 一時止	
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ: エージェン	و المراجع Windows •	^
 タスクの追加 	ソース デスティネーション	スケジュール 拡張	
製品のインストール	ログの切り捨て	□ SOL Server ログを切り捨てる 毎週 ▼	
		□ Exchange Server ⊡グを切り捨てる	
	コマンドの実行	 新辺 「パックアップの開始前 	
		■ 終了コード 0 ジョブを绕行 ○ ジョブを绕行 ○ ジョブを	
		□ スナップショットの取び得後	~
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates	and subsidiaries. All rights reserved.		

- (7) [タスクの追加]
 - [タスクの追加]タブをクリックし、レプリケート タスク を追加します。

A http://localhost:8015/		0 - C Arrsonye Unified Data Dr. X	
arcserve	unified data prote	ection _{2 更新分一} / 秋田子町 I UTC+0900 (日本標準時) Administrator	・ へいけ
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定	እና ፖሊቲንሮሀታት	
プランの追加	Windowsサーババックアッププラン	207 □ 52度 一時 停止	ヘルプ
タスク1:パックアップ:エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ: エージェン	トベース Windows 👻	人物創業
 タスクの追加 	ソース デスティネーション	スケジュール 拡張	
製品のインストール	ログの切り捨て	□ SQL Server ログを切り捨てる 毎週	
		Exchange Server ログを切り捨てる	
	コマンドの実行	□ パックアップの開始6前	- 1
		■ 終了コード 0 ⑨ ジョブを続行 ○	ジョブを中止
		□ スナップショットの取得後	~
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates a	nd subsidiaries. Al rights reserved.		

- (8) [タスクの種類]の選択
 - [タスク2]の[タスクの種類]から[レプリケート]を選択します。



(9) [ディスティネーション]の設定

[デスティネーション]タブをクリックし、バックアップデータの転送先の復旧ポイントサーバを設定します。 [復旧ポイント サーバ]で転送先の復旧ポイントサーバを選択し、[データ ストア]にてデータストアをそれぞれ プルダウンから選択してください。

A http://localhost:8015/	ク・ C 🖍 Arcserve Unified Data Pr ×	n ★ ‡
arcserve	unified data protection 。 如何是一次的研究 I UTC+0900 (日本標準時) Administrator 、	زياريم (
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
プランの変更	CD プラン ター・ 時様 止 エー・ 第7 キャンセル レ	へルブ
タスク1: パックアップ: エージェント 📀 ペース Windows	タスクの種類 レブリケート マ (8) タス	の削除
<u> </u>	ソース デスティネーション スケジュール 拡張	
● タスクの追加	(期日ポイントサーバ RPS-Srv v	
	データストア RemoteDS	
製品のインストール	レプリケーション ジョブが失敗したとき:	
	冉武行開始 10 分後 (1 ~ 60)	
	再就行 1 回 (1"99)	
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates a	and subsidiuries. All rights reserved.	

(10)[スケジュール]の設定

[スケジュール]タブをクリックします。デフォルトではスケジュールは設定されておらず、バックアップタス クが完了するとすぐにレプリケートタスクが実行されます。もしレプリケートタスクの実行を時間指定で行う 場合は、スケジュールを追加してください。スケジュールの設定手順はバックアップタスクと同じです。 ここではデフォルトのままで進めます。

+ http://localhost:8015/	ク・ C 🔥 Arcserve Unified Data Pr ×	h ★ \$
arcserve	unified data protection _{@ 更新步一形的用不可} I UTC+0900 (日本標準時) Administrator	
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
プランの変更	200 フラン を一 時停 止 第7 第7 第7 第7 第7 第7 27 27 27 27 27 27 27 27 27 2	ヘルプ
タスク1: パックアップ: エージェント 🛛 🥥 ペース Windows	タスクの種類 レプリケート · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
<u> </u>	ソース デスティネーション スケジュール 拡張	
 タスクの追加 	④ 近加 ● ● ⑦ 外行 説明 日月火水木金土崎刻	
製品のインストール		
	1 国日ポイントの保存 7 日次パックアップ	
	通いたバックアップ	
	月はバックアップ	
	31 カスタム/手動バックアップ	~
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates	and subsidiaries. All rights reserved.	

(11) プラン設定の保存

[拡張]タブでは、メール通知の設定が行えますが本ガイドでは設定をせずに進めます。 [保存]ボタンをクリックし、プランを保存します。以上でプラン作成は終了です。



2.2 プランの手動実行

(1) バックアップの手動実行

作成したプランを手動で実行するためには、バックアップを実行します。追加されたプランを選択して、対象 ノードを右クリックして出てくるメニューから、[今すぐバックアップ]をクリックします。

(対象ノードを選択し、[アクション] - [今すぐバックアップ] からも選択できます)

↔ → http://localhost:8015/		・ C Arcserve Unified Data	a Pr ×	
arcserve	[®] unified data p	rotection _{の 更新サーバ使用不可} 」 設定 ハイアベイラビリティ	UTC+09.00 (日本標準時) Administrator ・ ヘルプ
 メード すべてのノード ブランがないノード オラン グルーブ オラン グルーブ オブスティネーンョン (第日ポイント サーパ) オラン すべてのブラン 	ノード: WindowsサーノVで アウション・ ノードの通知 図 ノード名 図 ・ トキ名	メクテッププラン フィルタ × (フィルタ通用 フラン Windowsサーババックアップラン データの同期 単 三 打 利斯: ・ マージュントのインストール/アップグレード ハイパーバイザの指定	(st) • » ЛИК-БНУ	 ▼ 開始 × ♀ 開始 × ♀ (常識するノードの追加 ♀ ブラスティネージョンの追加 ☞ ブランの作成 ヨアンシット マ ステークス ● タ ステークス ● ● ノードには完て済みの指定された。 ♥ 最近のイペント ログの表示 最近のイペントはありません。
Copyright 8 2015 Arcoserve (USA), LLD and its affili	く ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	÷	》 1件中 1 - 1 件を表示	

(2) [今すぐバックアップを実行]

デフォルトでは増分バックアップが選択されていますが、移行後初めてのバックアップは自動的にフルバック アップに変換されます。[バックアップ名]を任意で入力し、[OK]をクリックします。



バックアップジョブがサブミットされ、[最新のイベント]にジョブの実行状況が表示されます。

A http://localhost:8015/	م Arcserve Unified Data Pr ×	- □ × ☆ ☆
arcserve	* unified data protection 。 UTC+0900 (日本標準時) Administrator -	
ダッシュボード リソース ジョ	ョブ レポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ	
▲ ノート オペアのリード	ノード: WindowsサーバV ジクアッププラン	×
プランがないノード プラングループ	アクション・ ノードの追加 フィルタ ※ (フィルタ通用なし、) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
ー フラン ラルーフ Windowsサーババックアッププラン	ノード名 プラン ハ 〇 デスティネーションの追加	
 <i>▲ デスティネーション</i> 後旧ポイントサーバ <i>オラン</i> オペてのプラン 	✓	
	アウション -	
	▽ ステータス	0
	りードには完了済みの指定されたジョブはあい	りません。
	▽最近のイベト□	グの表示
	ノーや名:strosenve パックアップ:2015/07/28 1828-18 2-m(275 GB/11 27 GB) 経営練り間:00:00:43	詳細
	< >>	
	▲ ▲ ページ1 / 1 ▶ ▶ 🧞 1件中 1 - 1件を表示	
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affilia	liates and subsidiaries. All rights reserved.	

[詳細]ボタンをクリックすると[バックアップ ステータス モニタ]画面でより詳細な状況を見ることができます。

						_ 🗆 X
(⇐) ↔ http://localhost:8015/		∧ 5 + Q	Arcserve Unified Data Pr.	×		n 🖈 🕸
arcserve	いっぽっぺ data バックアップ ステータスモ	こう - arcserve		×	Administrator	tuv .
タッシュホード リソース ジョ:	 ごうびアラフー フル 進捗状況 フェーズ ボリュームのバックア 	ップ中		△ **)セル	ر المراجع المراجع (Landard Landard Land	×
フシガないシード 4 ブラン グルーナ Windowsサーババックアップブラン 4 デスティネーション 注知日本イント サーバ 4 プラン すべてのブラン	5%(402 GU/11 27 GB) 開始時刻 超過時刻 超近列の相間 地定列の相関 地定列の相関 地定列の相関 地定列の相関 地定列の相関 地定列の相関 にの すデュフリケーション 年後の うたままま(か)	2015/07/28 18:28 00:01:34 00:01:14 C: パスワードによる保護 有効 行気 95.28% 39.47%	13		シートションの1 <u>8</u> カロ モーションの18カロ モージ	
	エループット スループット スループット スループット	37.14%	制限なし 4341 MB/分	۵	て済みの指定されたジョブは 小	ひ ありません。 ログの表示
			閉びる	CILA	arve 15/07/28 18:28:13 11 27 58) 01:34	L¥\$0
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLD and its affiliat	네 네 ページ[1/1 ▷ ▷ es and subsidiaries. All rights reserved.	2	1件中1-1件を表示		J	

バックアップジョブが完了すると、レプリケートのジョブ "転送先[レプリケーションタスク(イン)" および、"転送元[レプリケーションタスク(アウト)]"が [最新のイベント] に表示されます。

← → http://localhost:8015	/	5 - Q	Arcserve Unified D	ata Pr ×	= □ ×
arcser∨e ह्रण्ऽे⊒ज्ञ-स प्र∨-त ॐ) unified data ョブ レポート ログ 琴	a protectio	ስ <mark>ስ</mark> ፪ <u>፻፹ታ- በውጠና </u>	I UTC+09:00 (日本儒华時) Administrator	•
- ノード 	ノード: Windowsサーバ	V Vックアッププラ	5ン	▽ 開始	>
プランがないソード オマンかなにソード 4 vCenter/ESX グループ 192.168.10.100 4 VM バックアップ プロキシ グループ udp-u2	アクション・ ノードの追加 マ ノード名 マ 素 マ 素	プラン Windowsサー	<mark>ንብዞን × >></mark> <u>ጉብጽ–ናናተቻ</u> ይናለም!	 (保護するノードの追加) デスティネーションの追加 フランの作成 	
▲ ブラン グループ Windowsサーババックアップブラン エージェントレスバックアップブラン レプリケーションブラン				arcserve איבלעי -	
 デスティネーション (期日ボイント サーバ ガラン すべてのプラン 				 ▷ ステータス ▽ 最近のイパント 	● / ログの表示
				ノード名: arcserve レブリケージョン (イン): 2015/08/31 12:18:24 21% (0.606 CE) / 50:29 GEO 経過時間: 10:015:40 ノード名: arcserve レブリケージョン (アウト): 2015/08/31 12:28:06	
Conversible & ODES Accounts (USA) 11.0		4 æ	▶ 1件中1-1件を表示	31K (16.06 GB/5028 GB)	詳細

レプリケーションタスク(イン)、またはレプリケーションタスク(アウト)の[詳細]ボタンをクリックすると [レプリケーション ステータス モニタ]の画面で、転送元/転送先のより詳細な状況を見ることができます。

				_ _ X
A http://localhost:8015/		♀ ♂ 🖍 Arcserve Unified Da	ta Pr ×	☆ ★ 🛱
() () () () () () () () () () () ()	レプリケーション ステータス シプリケーション ステータス 進捗 状況 フェーズ データの転送中 28% (9.959 GB/A029 GB) 開始時刻間 指定列の時間 現在のセジラン 20% (9.959 GB/A029 GB) 開始時刻 第次の中約間 現在のセジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 セジランの部合 モジランのの部合 モジランの 第本 第二 第二 第二 第二 モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの アーズ モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの モジランの 第二 モジランの 本 モジランの 第二 モジランの 第二 モジランの モジランの モジランの モジランの 本 モジランの モジランの モジョンの モジランの モジランの モジランの モジョンの モジー モジョンの モジー モジョンの モジー モジー モジー モジー モジー モジー モジー モジー	P - C Arcserve Unified Da まモニタ - arcserve ト) 2015/08/31 1223:06 00:19:06 00:12:36 11 11 18 標準圧縮 パスワードによる(発調) 10% udp-u2 datastore rps-srv RemoteDS #JFRなし 170.133 Mbps(346.668 J	ta Pr ×	
		開ける		2015/08/31 12:23:06
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliat	es and subsidiaries. All rights reserved.			

(3) プランの正常終了を確認

[ステータス]の[最新のイベント]で、"バックアップ"、"レプリケーションタスク(イン)"、"レプリケーション タスク(アウト)"がそれぞれ正常終了したことを確認します。

	P ~ C Arcserve Unified Data Pr× 企 つ	3	
ダッシュボード リソース ジョ メノード すべてのノード			
 ✓ Conter/ESX グループ 192.168.10.100 ✓ VM バックアップ ブロキシ グループ 			
 ゴスティネーション 復日ポイントサーバ ゴラン すべてのプラン 	アクション → マ ステータス マ 最新のジョブ	0	•
	 ○ パッグアップ 0%分) 2015/09/18 15:25:46 メワリケーション (イン) 2015/09/18 15:15:12 メリ問告:00:08:17 ○ レブリケーション (アウト) 2015/09/18 15:24:54 メリ問告:00:08:20 		
copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affil		示	- AND

く参考>

他の拠点にある復旧ポイント サーバへ大容量のデータを迅速にレプリケートするために、Arcserve UDP では WAN やインターネットなどのネットワークを利用しない(オフライン)レプリケートを行う" RPS ジャンプスタ ート"という方法が提供されています。

RPS ジャンプスタートの概要や実行手順は、Page: 23 <u>"3.1 RPS ジャンプスタート機能を利用する手順"</u>を参照 ください。

3. 災害対策サイトからの復旧手順

本手順では災害対策サイトに転送された復旧ポイントサーバのバックアップデータを使い、本番サイトを復旧するための以下の2つの方法を紹介します。(各方法の詳細については次ページ以降で紹介いたします)

3.1 RPS ジャンプスタート機能を利用する方法

災害対策サイトにあるバックアップデータを USB ディスクなど外部ストレージで本番サイトに搬送



3.2 レプリケートタスクを利用する方法

災害対策サイトで仮運用した業務サーバをバックアップし、本番サイトへ逆向きにデータ転送



災害などで壊れた本番サイトの UDP 管理コンソールと復旧ポイントサーバを再構築する場合は、以下を参照ください。 「Arcserve Unified Data Protection v5 環境構築ガイド (インストール、データストア構築の手順)」 http://www.arcserve.com/~/media/Arcserve/files/Technical%20Documents/asudp_v5_full_install_guide.pdf

3.1 RPS ジャンプスタート機能を利用する手順

RPS ジャンプスタート機能を使うと、同じ復旧ポイントサーバ内の異なるデータストアに対し、バックアップ データを複製できます。複製されたバックアップデータを他の拠点へ運び、遠隔地の復旧ポイントサーバにイ ンポートすると、2つの復旧ポイントサーバ間で同じバックアップデータを持つことができます。

> RPS ジャンプスタートを使ったバックアップデータ複製手順の流れ



~ 災害対策サイト側の作業~ (本手順書の Page: 24 ~ Page: 30 参照)

上記①を実施する前に災害対策サイト側の復旧ポイントサーバに対し、バックアップデータの複製先となるス トレージ媒体(USB ディスクなど)を接続します。

し、本番サーバを復旧

をリモートRPSにコピー

トサイトのRPSに接続

~ 災害対策サイト側の作業 ~

(1) RPS ジャンプスタート用データストアの追加

本番サイトに、搬送用にストレージ媒体を接続します。一時保管用のデータストアを、接続したストレージ媒体上に作成します。

災害対策サイトの復旧ポイントサーバを選択し、右クリックして表示されるメニューから、[データ ストアの 追加]をクリックしてください。

([アクション]メニューから[データ ストアの追加]をクリックすることもできます。)

(+) (+) (+) (+) (+) (+) (+) (+) (+) (+)	st:8015/ 🎗 🗸 🖒 🌔 arcserve Unified Data Pr X	<u> </u>
arcserve [.]	unified data protection _{@ 更新的一路的用不可} !uto+eseoo	(日本標準時) Administrator - へルプ -
ダッシュボード リソース レポ イノード オペてのノード	ート ロ グ 環境設定 ハイアベイラビリティ デスティネーション: 復旧ポイントサーバ	~ 開始 ×
ブランがないノード	アウション・ 復旧ポイントサーバの追加 クロークション ブラン数 プラン数 データ保護 demonda バー 2016 2016	
すべてのブラン	データストアの追加 データストアの追加 復旧ポイントサード のインストール/アップダレード	demopc4 799عک ب
		▶ 最近のイペント ロプの表示
Copyright © 2014 CA, All rights reserved. No unauthor	ized copying or distribution is permitted.	

(2) データストアの設定

[データ ストアの追加]画面で、追加するデータストアの名称を[データ ストア名]に入力します。 [バックアップ先フォルダ]は、バックアップデータ搬送用のストレージ媒体内のフォルダを指定します。 なお、デフォルトでは[データのデデュプリケート]のチェックがされており、バックアップデータの重複排除 機能が有効になっています。本ガイドではデフォルト設定のまま作成を行います。

※注意: 複製元のデータストアが重複排除機能を使用している場合は、複製先のデータストアの重複排除機能 を有効にして作成してください。 複製元のデータストアの重複排除機能が無効な場合、複製先のデータストアの重複排除機能が有効 または無効のどちらでも利用できます。

ー時保管用のデータストアは、[バックアップ先フォルダ] [データ デスティネーション] [インデックス デスティネーション] [ハッシュ デスティネーション]の 4 箇所のフォルダを**すべて搬送用一時保管のディスク上に**設定してください。

設定完了後、[保存]ボタンをクリックします。

(-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-)	arcserve Unified Data Pr ×
GICSETVe° unified dat	ta protection _{の 重新サーバ会開不可} 」 UTD+05:00 (日本侵違時) Administrator - へぬ7 -
ダッシュボード リソース レポート ログ 環境設定	定 אר אל אליל איני איני איני איני איני איני א
データ ストアの追加	<u>保存</u> キャンセル ヘルブ
復旧ポイントサーバ	demopo4
データストア名	datastore1
パックアップ先フォルダ	ditteckup State
圧縮タイプ	標準圧縮 ~
同時アりティブ ノード	○ 制限なし
	 次に制限: 20
データの略 号化	
暗号化パスワード	
暗号化パスワードの確認	
データのデデュブリケート	V
データ デスティネーション	d:¥data 參照
インデックス デスティネ ーション	d'¥index 参照
ハゥシュ デスティネ ーション	dishesh X 参照
ハゥシュ デスティネ ーション は ソリ・ テート ドライブ (SSD) 上にあります	
ハッシュ メモリの 割り当て	1024MB 16265MB 4096 MB
デデュプリケーション ブロック サイズ	4KB *
JT11+2-20-3-11 - 5%-**	西外の地合
■ スモリのよびストレーンの・ Copyright © 2014 CA. All rights reserved. No unsuthorized copying or distribution is permi	安けの理定 tted.

データストアが追加されると、一覧の復旧ポイントサーバ配下にデータストアが表示されます。データスト アが正常に開始されたことを確認してください。

以上で搬送用一時保管のデータストア追加は完了です。

http://localhost:8015/			Q	• C Arcse	rve Unified Data Pr	×	17 12 12
arcserve) [®] (unified data	protec	ction _{o pm}	<u></u>	09:00 (日本標準時) Administrator	* ND
ダッシュボード リソース ジョ	ョブ レポ	ート ログ 環	境設定	ለተፖላ	イラビリティ		
▲ ノード オペアルノード	デスティ	ネーション:復旧	ポイントサ	-15		▽ 開始	×
プランがないソード	アクション・	御日ボイントサ	一バの追加			🖵 保護するノードの追加	
▲ vCenter/ESX グループ 192.168.10.100	4	名前 RPS-Srv	プラン数	データ保護	デデュプリケーション	デスティネーションの追加	
▲ VM バックアップ プロキシ グループ	0	RemoteDS	2	74.82 GB	43%	😨 プランの作成	
udp=u2 ⊿ ブラン グループ	۲	local-datastore2	1	50.27 GB	N/A		
Windowsサーババックアッププラン						udp-u2 > local-datastore	2
エージェントレスバックアッププラン						P9932 →	
▲ デスティネーション						▽ ステータス	•
復旧ポイント サーバ							
▲ フラン すべてのプラン							
						▷ 最近のイベント	ログの表示
						▽ 設定	
						圧縮タイプ 標準圧縮 バックアップ先 G¥LocalData 同時アクティブノード 20	astore2
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affili	Categories and subsidi	aries. All rights reserved.			>		

(3) [RPS ジャンプスタート]の実行

災害対策サイトの復旧ポイント サーバから複製元のデータストアを右クリックし、[RPS ジャンプスタート]を クリックします。

	1	P - C ∧ Arcse	rve Unified Data Pr.	× □ ×
arcserv	° unified data j	protection _{o mit}	<u>►-//使用不可</u> UTC+	+0900 (日本標準時) Administrator - ヘルプ
ダッシュボード リソース	コブ レポート ログ 環境		イラビリティ	▽開始 ×
すべてのノード プランがないソード	アスアイイーンヨン:1夏1日川 アクション - 御日ボイントサー/	イントサーハ 50追加	-	保護するノードの追加
▲ デスティネーション 復旧ポイント サーバ	名前	プラン教 データ保護	デデュプリケーション	デスティネーションの追加
⊿ プラン すべてのプラン	● <u>DataStore</u> ● <u>DS</u> 頁	• о ки к Т Ке́ В	0% 30%	75ンの作成
	O DS2 (19	B	48%	udp=u2 > DataStore
	 ✓ LocalDatasto ✓ local-datasto 	ローボン・ス小美郎 B PS ジャンプスタート 0. B	N/A	アクジョン -
				 ストラム ストラム ストラクム <l< td=""></l<>
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and it:	iates and subsidiaries. All rights reserved.		>	〒~~ ●●●□~

(4) [1. RPS ジャンプスタート ソースの選択]

[RPS ジャンプスタート]画面の [復旧ポイントのマイグレート]から[データ ストアから、同じ復旧ポイントサ ーバ上の別のデータ ストア]を選択します。

[ソース 復旧ポイント サーバ]と[ソース データ ストア]が、それぞれ複製元の復旧ポイントサーバとデータストアであること確認します。もし異なる場合はそれぞれプルダウンから選択してください。

次に[ノード名]で、復旧対象のノードを選択し、[次へ]をクリックします。

RPS ジャンプスタート							
1. RPS ジャンプスタート ソースの選択							
復日ポイントのマイグレート	データストアから、同じ復日ポイントサーバ 上の別のデータストア 🔹						
ソース 復旧ポイントサーバ	udp-u2			*			
ソース データストア	DS			-			
วามจ	すべてのプラン			*			
マイグレート対象ノードを選択して [)次へ] を	£クリックします。						
☑ ノード名		最初の復日ポイント	最新の復日ポイント	復日ボイントの数			
🔽 arcserve 1		2015/08/19 13:33:52	2015/08/31 12:12:26	8			
4 4 ページ1/ 1 ▶ ▶ 4	¹			1件中 1-1件を表	€T		
へルプ				次へ キャンセ	JF.		

- (5) [2. RPS ジャンプスタート ターゲットの選択]
 - [ターゲット データ ストア] で、搬送用一時保管のデータストアを選択します。

RPS ジャンプスタート				
2. RPS ジャンプスタート ターゲットの選択				
ターゲット 復日ポイントサーバ	udp-u2		*	
ターゲット データ ストア	local-datastore2			
へルプ		前へ	次^	キャンセル

(6) ジャンプスタートの内容確認

RPS ジャンプスタートの内容を確認し、問題無ければ [完了]をクリックします。

ジャンプスタートが開始され、データのコピーが実行されます。

RPS ジャンプスター	۲			o x
3.確認				
リスト表示されたノードに対	する復日ポイントは以下の	ようにマイグレートされます:		
RPS ジャンプスタート ソ	ース	RPS ジャンプスタート ターゲット		
ソース 復旧ポイントサー	-/ï udp−u2	ターゲット 復日ポイントサーバー	udp-u2	
ソース データストア	DS	ターゲット データ ストア	oca⊢datastore2	
プラン	すべてのプラン			
マイグレートする復旧ポイン	ŀ			
ノード名		最初の復日ポイント	最新の復日ポイント	復日ポイントの数
arcserve1		2015/08/19 13:33:52	2015/08/31 12:12:26	8
4 4 ページ /	1 🕨 🕅 🍣			1件中 1-1件を表示
RPS ジャンプスタート処理を	を開始するには [完了] を	フリックします。必要に応じて、追加の手ル	励ここに表示されます。	
ヘルプ			前へ	7
				41207

RPS ジャンプスタートを実行すると、[最近のイベント]にジョブの実行状況が表示されます。

 ・ ・ ・	°	un レポー	ified data - ログ 環	ァ protec 境設定	・ C Arcsen Ction _{の 更新想}	ve Unified Data Pr. <u>〜パ炉田です</u> I UTC イラビリティ	×	(日本標業時) Administrator	- □ X
	デス アクシ	ティネ・ 1シ・	ーション: 復旧 御ばんいけ ・	ポイントサ -バの追加	-)/"		▽開 口	始保護するノードの追加	×
 ✓ vCenter/ESX グループ 192.168.10.100 ✓ M バックアップ プロキシ グループ udp=u2 	4	名i udp 〇 [non-u2 D <u>S</u>	プラン 数 0	データ保護 11.65 GB 50.27 GB	デデュプリケーション 0%	€) €	デスティネーションの追加 プランの作成	
 オラシ グループ Windowsサーズバックアッププラン エージェントレスパックアッププラン レブリケーションプラン オテスティネーション 13日ポイントサーバ 							udp- דיליד ד ד	-u2 > local-datastore2 a> - 7-93	•
・ プラン すべてのプラン	<					>	 ○実前 ○ □ □<!--</td--><td>行中 送近のパペント ド弦: arcserve 1 ジジャンプスタート(アウト): 2015/08/31 0.49 GB/5029 GE) 基時間: 00.00.56 パリケーション(ゲウト) 2015/08/31 59プアップ - 増分 2015/08/31 59プアップ - 増分 2015/08/31</td><td>ログの表示 15-48-87 ままま 12-223-06 12-12-26 13-56-47</td>	行中 送近のパペント ド弦: arcserve 1 ジジャンプスタート(アウト): 2015/08/31 0.49 GB/5029 GE) 基時間: 00.00.56 パリケーション(ゲウト) 2015/08/31 59プアップ - 増分 2015/08/31 59プアップ - 増分 2015/08/31	ログの表示 15-48-87 ままま 12-223-06 12-12-26 13-56-47

RPS ジャンプスタート タスク の [詳細]ボタンをクリックすると[RPS ジャンプスタート ステータス モニタ] の画面で、より詳細な状況を見ることができます。

		×	
(⇐) ⊕ ∧ http://localhost:8015/		♀ ▾ ♂ 🖍 Arcserve Unified Data Pr ×	☆ ☆
arcser∨e	RPS ジャンプスタート ステー	ータス モニタ - arcserve1 へ (アウト)	> Administrator • ^JJ/J
タッシュホード リソース ンヨ	進捗状況	ちゃっか	
▲ ノード すべてのノード	4% (2.21 GB/50.28 GB)		×
プランがないソード	開始時刻 経過時間	2015/08/31 15:48:37 00:01:16	ードの追加
192.168.10.100	推定残り時間 現在のセッション	00:22:21	ションの注意加
▲ VM バックアップ プロキシ グループ udp-u2	セッションの開始 セッションの開始	11 18	X
▲ プラン グループ Windows Hout Contract マープー	圧縮レベル 保護	標準圧縮 パスワードによる(保護	
エージェントレスバックアッププラン	確保された帯域幅の割合(%) ソース(御日ポイント サーバ	9% udp-u2	ar-datastorez
レプリケーションプラン ▲ デスティネーション	ソース データ ストア名 ターゲット復日ポイント サーバ ターゲット 復日ポイント サーバ	DS udp=u2 local=datactore2	0 ^
復日ポイント サーバ	タークタト ナータ ストア-石 うった ローカキニ 洋コ ルーーやった	lucar-ualasturez	
すべてのブラン	帯域幅スロットル	制限なし	口ળの表示
	スループット(論理速度)	270.555 Mbps(307.697 Mbps)	21
			・ト (アウト): 2015/08/31 15 49:97
		問る ^ に7	(アウト) 2015/08/31 12:23:06 0分 2015/08/31 12:12:26
Convicted 2015 Accessive (LSA) LLC and its affilia	tes and subsidiaries. All rights reserved		●分 2015/08/19 13:56:47
and the second second the second	the second s		

(7) マイグレートの完了確認

RPS ジャンプ スタート終了後、[リソース]-[復旧ポイントサーバ]-[データストア]で一時保管用のデータスト アをクリックし、データストア内に復旧対象サーバが登録されていることを確認します。

→ A http://localhost:8015/		P ▼ C 🔨 Arcser	ve Unified Data Pr ×		ŵ ☆
arcserve	unified data p	rotection _{る 更新世}	<u>ーパ使用不可</u> UTC+09:00 (日本村	是举时) Administrator	• ^
ダッシュボード リソース ジョブ l	ッポート ログ 環境	設定 ハイアベイ	イラビリティ		
デスティネーション: udp-u2 > DataS	tore			終了	ヘルプ
復旧ポイント					
サマリ					
ፖሪንድን 🗸			는 그는 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가 가		
ノード名	最新の初日ポイント	御日ポイントの数	✓ J 3 XP780E	博准正常	
Jラン(未保護(適用されたブランなし))		3	ビニオ語シゴノ バックアップ先	1≕≄Line F¥DataStore	
arcserve	2015/07/28 15:04:36	3	同時アクティブノード	4	
			データファイル パス インデックス ファイル パス ハッシュ ファイル パス	F:¥Data G:¥index G:¥hash	
			ハッシュメモリ サイズ	4096 MB	
pyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates and :	subsidiaries. All rights reserved.				

(8) データストアの削除

搬送用のストレージ媒体を復旧ポイントサーバから切り離すため、一時保管のデータストアを選択して[削除] をクリックします。左記手順でデータストアを削除してもバックアップデータ自体は削除されません。データ ストア削除後、ストレージ媒体を復旧ポイントサーバから外して本番サイトに搬送します。

↔ ↔ http://localhost:8015/		م	- C 🔨 Arcse	rve Unified Data Pr	. ×	₼ ☆	Ø
arcserve ^{রূস্টার} াশ ।।)/-র ঈর	[®] unified da Iブ レポート ログ	ta protec 環境設定	tion _{o my}	<u>ーパ使用不可</u> I UTC+ イラビリティ	09:00 (日本標準時) Administrator -	-	ヘルプ
	デスティネーション:復	[旧ポイントサ	-) ("		▽ 開始		×
プランがないソード	アクション・ 復日ポイン	トサーバの追加			🖵 保護するノードの追加		
▲ vCenter/ESX グループ 192.168.10.100	名前 4 udp-u2	プラン教	データ保護	デデュプリケーション	デスティネーションの追加		
■ VM バックアップ プロキシ グループ udp-u2		0	15.42 GB	48%	👿 プランの作成		
▲ ブラン グループ エージェントレスパックアップブラン		前除		10.11	udp-u2 > local-datastore2		
▲ エスティネーション 復旧ポイント サーバ		1711	01000		די עבעליד		
▲ プラン オペアのプラン		RPS ジ	ヤンプスタート		▽ ステータス	0	^
5.((0))))					⊘実行中		
					▽最近のイベント	の表示	
					 ページ 2015/08/31 20:18 ページ 2015/08/31 20:18 トラジャンプスタート(アウ) 2015/08/31 12:48 レブリケーション(アウト) 2015/08/31 12:32 ドックアップ - 18分 2015/08/31 12:12 ドックアップ - 18分 2015/08/13 12:56 ドックアップ - 18分 2015/08/13 13:58 ドックアップ - アル 2015/08/19 13:33 	:54 :36 :26 :47 :52	~
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affili	ates and subsidiaries. All rights reserv	ved.		>	- 50-0		

~ 本番サイト側の作業 ~

(9) データストアのコピー

ー時保管のデータストアが含まれるストレージ媒体を本番サイトの復旧ポイントサーバに接続し、本番運用 バックアップデータの保存先となるフォルダに一時保管のデータストアを、エクスプローラなどを使って コピーします。

重複排除を有効にしたデータストアの場合は、[バックアップ先フォルダ] [データ デスティネーション] [イン デックス デスティネーション] [ハッシュ デスティネーション]の4つのフォルダをコピーします。

4つのフォルダのコピー先は、それぞれ別々のフォルダ/ドライブを指定できます。

(10)[データストアのインポート]の実行

本番サイトの復旧ポイントサーバを右クリックし、[データストアのインポート]をクリックします。

(A) http://localhost:8015/	P → C Arcserve Unified Data Pr	
arcserve		+0900 (日本標準時) Administrator - ヘルプ
 ダッシュボード リソース ジョ 	ブレポート ログ 環境設定 ハイアベイラビリティ デスティネーション:復旧ポイントサーバ アウシン・ (御田ポイントサーバの道知) クジスク・ 「御田ポイントサーバの道知」 クジスク・ 「御田ポイントサーバの道知」 アラック アラリア・ション 東京… 東京… 東京 大クジュージ 東京 大クジュージ 東京 大クジュージ 東京 大クジュージ 東京 大クジョン 東京 大クジョン 東京 大クジュージ 東京 大クジュージ 東京 大クジュージ 東京 大クジョン 東京 大クジョン 東京 大クジョン フラッシ 大クジョン 東京 大クジョン 東京 大クジョン ア 大クジョン ア 大クジョン ア 大クジョン ア 大クジョン ア 大クジョン ア 大クジョン	 ▼開始 × 「保護する/-ドの追加 デスティネーションの追加 デスティネーションの追加 デスランの作成 RPS-Srv アクション・ ● 私近のイベント 070表示 015/08/31 2012:00 015/08/31 2012:00 015/08/31 2012:00 015/08/30 7:56:18 ● レブリケーション (イン) 2015/08/20 7:56:18
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLO and its affili	ates and subsidiaries. All rights reserved.	

(11)[バックアップ先フォルダ]の指定

[バックアップ先フォルダ]に、バックアップ先をコピーしたフォルダを指定します。データストア作成時に[暗 号化パスワード]を指定した場合はパスワードを入力し、暗号化パスワードを指定しなかった場合は、空欄のま ま[次へ]をクリックします。

				×
A http://localhost:8015/	- ۵	C Arcserve Unified Data Pr ×		ሰ 🛧 🛱
arcserve	unified data protect	ion ₂) Administrator	 ヘルナ
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 環境設定	ハイアベイラビリティ		
データ ストアのインポート		偿存	和池川	ヘルプ
	復日ポイントサーバ	RPS-Srv		
	バックアップ先フォルダ	E¥tempds	参照	
	暗号化パスワード	••••••		
		<u>ж</u> л		
Copyright @ 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates a	nd subsidiaries. All rights reserved.			

(12)データストアの設定

[データ ストア名]を指定します。デフォルトでは一時保管のデータストア名が使用されます。 [データ デスティネーション] [インデックス デスティネーション] [ハッシュ デスティネーション]はそれぞれ コピー先のフォルダを指定し、[保存]をクリックします。

http://localhost:8015/	ۍ ، م	Arcserve Unified Data Pr ×		ft ★ 🕸
arcserve [.]	unified data protection	ON 3 距斯 <u>小小規制不可</u> UTC+0900 (日本標準時)	Administrator	• ^JJ/7
ダッシュボード リソース ジョブ レフ	ポート ログ 環境設定	ለイ アベイラビリティ		
データストアのインポート		保存	\$*\ZII	へルプ
	復日ポイントサーバ	RPS-Srv		^
	データストア名	DataStore		
	圧縮タイプ	標準圧縮		
	同時アクティブ ノード	○ 制限なし		
		● 次に制限: 4		
	共有フォルダ名	¥¥RPS-Srv¥CA_UDP_TEMP0000		
	データの暗号化	いいえ		
	データのデデュプリケート	(\$(.)		
	データ デスティネーション	E:¥tempdist	参照	
	インデックス デスティネーション	C.¥tempindex	参照	
	ハッシュ デスティネーション	C:¥temphash	参照	~
Copyright © 2015 Arcserve (USA), LLC and its affiliates and sub-	sidiaries. All rights reserved.			

(13)データストアの確認

本番サイトの復旧ポイントサーバにデータストアが追加されたことを確認します。



(14)業務サーバの復旧

本番サイトの復旧ポイントサーバにあるデータストアを利用して、業務サーバの復旧(BMR)を行います。 BMR の手順については、以下を参照ください。

- UDP Agent for Windows

「Arcserve Unified Data Protection v5 Agent 環境構築ガイド(インストールからベアメタル復旧の手順)」 http://www.arcserve.com/~/media/Arcserve/files/Technical%20Documents/asudp_v5_agent_BMR_guide.pdf

3.2 レプリケートタスクを利用する手順

本番サイトが利用できない間、BMR 等を使用して災害対策サイトに本番サイトを同じサーバを復旧して業務を継続させることができます。

本番サイトの復旧後は、災害対策サイトで運用中のサーバのデータを本番サイトに反映させる必要があります。 レプリケートタスクを利用すると、災害対策サイトにある最新のバックアップデータを使って、本番サイトの サーバを復旧できます。

- ステップ 1. 災害対策サイトの業務サーバをバックアップし、本番サイトの復旧ポイントサーバ にデータストアをレプリケートするプランを作成
- ステップ 2. ステップ 1. でレプリケートしたデータストアを使い、本番サイトの業務サーバの システム復旧(BMR)を実施



- (1) ステップ 1.では、災害対策サイトから本番サイトにバックアップデータをレプリケートするための 以下のタスクを含むプランを作成し、実行します。
 - タスク1:バックアップ:エージェントベース Windows

⇒ 災害対策サイトのサーバのバックアップ

タスク2:レプリケート

⇒ 災害対策サイトの RPS から本番サイトへの RPS へのレプリケート



ステップ 2.のプラン作成の手順については、本手順書の以下を参照ください。

「2.1 バックアップおよびレプリケートのプラン作成」 (Page: 11)

(2) ステップ 2.では、本番サイトにレプリケートされたバックアップデータを使い、業務サーバを BMR で復旧し ます。

BMR の手順については、以下を参照ください。

- UDP Agent for Windows

「Arcserve Unified Data Protection v5 Agent 環境構築ガイド(インストールからベアメタル復旧の手順)」

 $http://www.arcserve.com/{\sim}/media/Arcserve/files/Technical\%20 Documents/asudp_v5_agent_BMR_guide.pdf$

4. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

4.1 製品情報および FAQ はこちら

Arcserve シリーズ ポータルサイト

http://www.arcserve.com/jp/

動作要件

https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/201865549

注意/制限事項

https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/203837545

UDP マニュアルメニュー:

http://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/V5/JPN/bookshelf.html

4.2 トレーニング情報

4.2.0 無償トレーニング

どなたでも参加いただけますので、この機会にご活用ください。半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。 (競業他社の方はお断りして おります。)

http://www.arcserve.com/jp/lpg/seminar.aspx